

第87期 報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



新光電気工業株式会社

証券コード6967



株主の皆様には、平素よりひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申しあげます。第87期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

代表取締役社長

倉嶋 進



第5世代移動通信システム（5G）の普及等を背景とするビッグデータ、AIなどの活用の広がりが、経済や社会の仕組みに変化をもたらし、これまでとは次元の異なるイノベーションを生み出す可能性を秘めており、半導体はそのキーテクノロジーとして革新を続けていくことが期待されています。また、自動運転等の技術開発が加速する自動車や急速な拡大が想定されるIoT関連市場など、半導体は、今後も市場を拡大することが見込まれています。加えて、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが加速するなかで、省エネルギー化・省電力化をもたらすテクノロジーの進化を支えるキーデバイスとして、半導体のニーズはさらに高度化・多様化することが想定されます。

当社グループは、半導体デバイスの優れた機能を人々の生活のなかへともたすインターコネクトテクノロジーをベースに、高い競争力を持つ製品の開発に努め、お客様にとって価値の高い製品・サービスをご提供することにより、お客様の成功を支え、自らの発展・成長を目指してまいります。また、キャッシュ・フローを重視し、常に利益を創出できる強固な経営基盤の確立に努めてまいります。

さらに、当社グループの企業理念・指針である「SHINKO Way」の実践を通じ、ステークホルダーの方々との調和をはかるとともに、地球環境における喫緊の課題である気候変動をはじめ、多様なサステナビリティ課題に対する取り組みを通じて、持続可能な社会の実現と輝かしい未来の創造に貢献するべく、事業を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

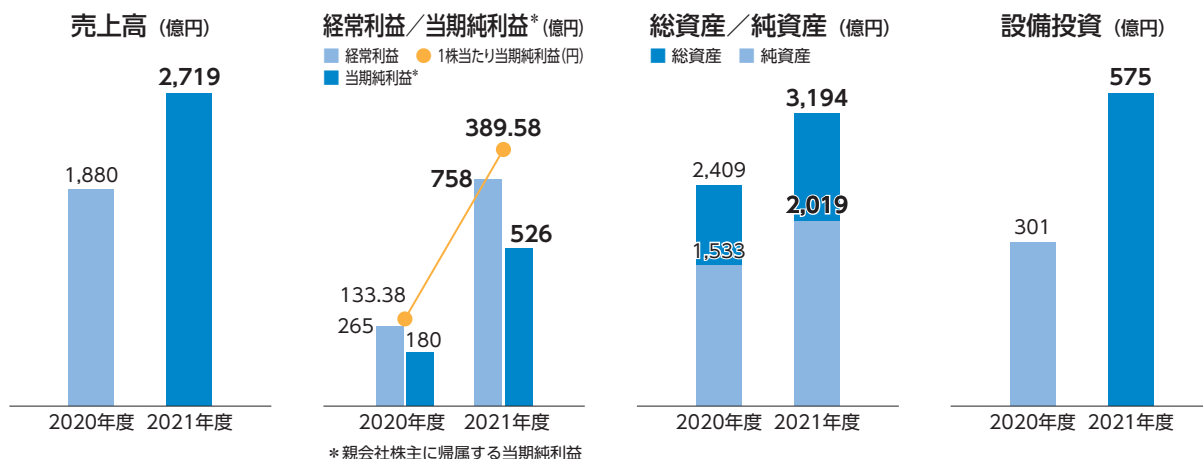
2021年度の事業概況

当期の半導体業界は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を契機とする、社会・経済におけるデジタル化の急速な進展等を背景に、パソコンやサーバーをはじめ幅広い分野において需要が大きく増加し、また、自動車市場向け等において半導体の需給逼迫状況が続くなど、旺盛な需要環境が継続しました。

このような環境の下、当社グループでは、各製品について取り組んでまいりました成長市場向け設備投資による生産能力増強等が寄与し、当期において大きく業績を伸長させることができました。主力のフリップチップタイプパッケージについては、高丘工場（長野県中野市）などにおいて2018年度より着手した大型設備投資等による生産体制強化が、高性能半導体の需要増加に対応するとともに、半導体製造装置、先端メモリー向け等についても旺盛な需要のもと生産増加に注力するなど、引き続き成長分野向けに重点的に経営資源を投下しました。これらの結果、フリップチップタイプパッケージは、パン

コン、サーバー向けに売上が大きく増加し、また、リードフレームは、自動車向けをはじめとして大幅な増収となりました。半導体製造装置向けセラミック静電チャックは、好調な半導体市場を背景に受注が大きく増加しました。これらにより、当連結会計年度の売上高は2,719億49百万円（対前期比44.6%増）と大きく増加しました。収益面につきましては、旺盛な需要を背景とする各製品の売上増加に伴う収益性の向上や、為替相場において円安基調が継続したことなどにより、経常利益は758億20百万円（対前期比186.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は526億28百万円（同192.1%増）となり、前期比で大幅な増収増益と、売上高、各利益とも過去最高となりました。

なお、当期の配当につきましては、期末配当は前期に比べ10円増配の1株当たり27円50銭とし、中間配当の17円50銭とあわせて年間45円とさせていただきます。



■ 今後の見通し

今後の半導体業界は、社会・経済のデジタル化の進展を背景に、半導体は幅広い分野において用途を広げ、市場は中長期的に拡大することが見込まれる一方で、一層の高機能化・高速化のニーズがさらに高まることが想定されます。加えて、世界的に脱炭素社会の実現に向けた取り組みが加速するなか、デジタル化と省エネルギー・低消費電力を両立するテクノロジーの進化を支えるキーデバイスとして半導体の重要性が高まるなど、高度化・多様化する市場のニーズや需要増加に対し、迅速かつ柔軟に対応し得る開発・生産体制を構築することを要するなど、世界規模での競争が一段と激化することが見込まれます。

このような環境の下、当社グループは、引き続き高い成長が見込まれる市場向けに重点的に経営資源を投下し、今後の発展を目指してまいります。半導体の高機能化・高速化と省電力化に対応し、旺盛な需要が続くフリップチップタイプパッケージについては、高丘工場（長野県中野市）等において展開してまいりました大型設備投資による新ラインなどにより増産をはかってまいります。さらに、昨年決定いたしました長野県千曲市における新工場開設ならびに更北工場（長野市）・若穂工場（同）における設備増強からなる過去最大規模の設備投資を着実に実行し、一層の生産体制強化に取り組んでまいります。また、今後、中長期的な需要伸長が見込まれる半導体製造装置向けのセラミック静電チャックについては、既存工場での増産に加え、昨年着工し、2023年度稼働予定の高丘工場新棟の整備により、量産体制拡充をはかるなど、今後の市場動向を的確に捉え、半導体の高性能化に寄与する当社製品のさらなる売上拡大を目指してまいります。

当社グループは、引き続き成長が見込まれる半導体市場にあって、常にお客様のニーズを起点とし、機能・性能、コスト、品質すべてにおいてお客様にとって価値の高い製品・サービスを提供することにより、「限りなき発展」を果たしてまいり所存であります。



更北工場（長野市）



若穂工場（長野市）



高丘工場（長野県中野市）



新井工場（新潟県妙高市）



京ヶ瀬工場（新潟県阿賀野市）

決算概要（連結）

Financial Statements(Consolidated)

■ 連結貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：百万円)			(単位：百万円)		
科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
資 産 の 部	319,461	240,977	負 債 の 部	117,463	87,584
流 動 資 産	192,828	124,534	流 動 負 債	114,826	84,471
固 定 資 産	126,632	116,443	固 定 負 債	2,636	3,112
有 形 固 定 資 産	119,999	110,551	純 資 産 の 部	201,997	153,393
無 形 固 定 資 産	861	1,130	株 主 資 本	204,746	157,213
投資その他の資産	5,771	4,761	資 本 金	24,223	24,223
資産合計	319,461	240,977	資 本 剰 余 金	24,129	24,129
			利 益 剰 余 金	156,486	108,953
			自 己 株 式	△ 92	△ 92
			その他の包括利益累計額	△ 2,749	△ 3,820
			負債純資産合計	319,461	240,977

■ 連結損益計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位：百万円)		
科 目	当 期	前 期
売 上 高	271,949	188,059
売 上 原 価	185,891	152,059
売 上 総 利 益	86,057	36,000
販売費及び一般管理費	14,663	12,671
営 業 利 益	71,394	23,328
営 業 外 収 益	4,496	3,251
営 業 外 費 用	71	72
経 常 利 益	75,820	26,507
特 別 損 失	1,076	875
税金等調整前当期純利益	74,743	25,631
法人税、住民税及び事業税	22,739	7,570
法 人 税 等 調 整 額	△ 624	42
親会社株主に帰属する当期純利益	52,628	18,018

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

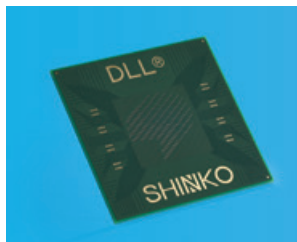
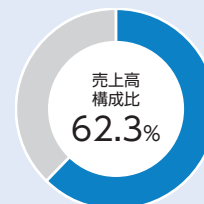
2021年4月1日～2022年3月31日

(単位：百万円)		
科 目	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,173	33,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 42,162	△ 32,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	177	538
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,061	271
現金及び現金同等物の増減額	26,249	2,462
現金及び現金同等物の期首残高	42,508	40,046
現金及び現金同等物の期末残高	68,758	42,508

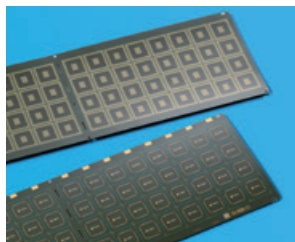
セグメント別の状況

プラスチックパッケージ

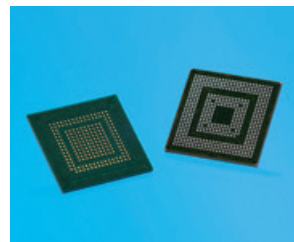
売上高	1,694億30百万円	前期比 49.5%増	↑
経常利益	508億54百万円	前期比199.1%増	↑



フリップチップタイプパッケージ



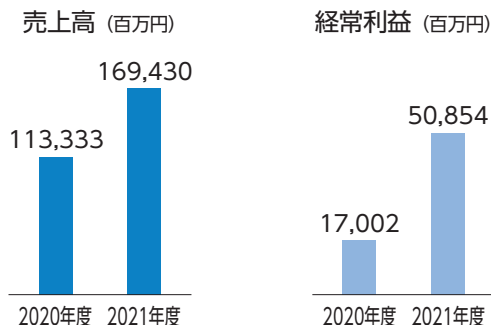
プラスチックBGA基板



IC組立

フリップチップタイプパッケージは、パソコンおよびサーバー向けに需要が拡大する中において生産能力増強が寄与したことなどにより、売上が大幅に増加しました。IC組立は、ハイエンドスマートフォン向けに受注が大きく増加し、また、プラスチックBGA基板は先端メモリや自動車向けの受注が拡大し、増収となりました。この結果、当セグメントの売上高は1,694億30百万円（対前期比49.5%増）となりました。

経常利益は508億54百万円（対前期比199.1%増）となりました。フリップチップタイプパッケージの売上が、高付加価値製品をはじめとして大きく増加し、また、為替相場において円安基調が継続したことなどに伴い、収益性が向上しました。

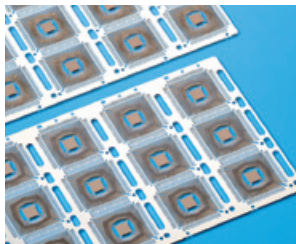
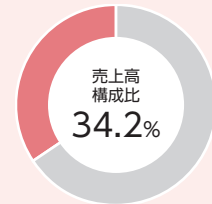


【主な搭載製品例】

パソコン、サーバー、スマートフォン、
自動車、民生機器 他

メタルパッケージ

売上高	928億70百万円	前期比 39.9%増	↑
経常利益	235億23百万円	前期比158.1%増	↑



プレスリードフレーム



セラミック静電チャック



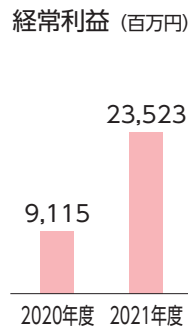
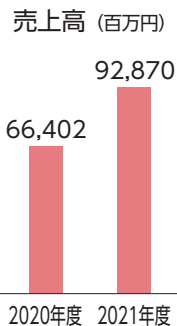
ガラス端子



ヒートスプレッダー

リードフレームは、自動車市場向けが好調に推移したことに加え、幅広い用途において需要が増加したことを背景に大幅な増収となりました。セラミック静電チャックは、引き続き半導体製造装置市場における旺盛な需要に支えられ売上が大きく増加しました。ガラス端子は、光学機器向けの受注が増加し、CPU向けヒートスプレッダーは、増収となりました。この結果、当セグメントの売上高は928億70百万円（対前期比39.9%増）となりました。

経常利益は235億23百万円（対前期比158.1%増）となりました。リードフレーム、セラミック静電チャックの増収効果および為替相場において円安基調が継続したことなどによります。



【主な搭載製品例】

自動車、スマートフォン、パソコン、
民生機器、半導体製造装置、通信機器 他



新生産拠点・千曲工場設置について

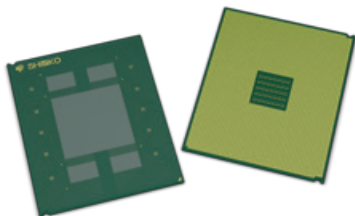
主力製品・フリップチップタイプパッケージの新たな生産拠点として、長野県千曲市に新工場を設置いたします。

新工場概要

- (1) 名称 : 千曲工場
- (2) 所在地 : 長野県千曲市雨宮2789-1
- (3) 生産品目 : 高性能半導体向け
フリップチップタイプパッケージ
- (4) 予定 : 2022年 6月 着工
2023年11月 竣工
2024年度下期より順次稼動

【フリップチップタイプパッケージ】

当社のフリップチップタイプパッケージは、パソコンやサーバーなどに搭載されるCPU等の高性能半導体向けに使用されています。半導体のさらなる進化をはかるうえで、半導体パッケージの重要性が増しており、当社のフリップチップタイプパッケージは、最先端のパッケージングテクノロジーにより、微細な配線パターンや多層構造、優れた電気特性を実現し、お客様のニーズにお応えしています。



千曲工場イメージ

新工場建設の目的

半導体の高機能化・高速化と省電力化に対応する半導体パッケージとして、フリップチップタイプパッケージは、今後も旺盛な需要が続くことが見込まれています。当社におきましては、これまで更北工場（長野市）、若穂工場（同）および高丘工場（長野県中野市）において、フリップチップタイプパッケージの生産体制強化に努めてまいりましたが、さらなる生産能力拡充をはかるべく、新拠点を開設するものです。

新工場では、使用する電力を100%再生可能エネルギーでまかなうなど、さまざまな環境負荷低減活動に取り組んでまいります。

サステナビリティ課題への取り組み

近年、気候変動をはじめ深刻な社会課題の顕在化に伴い、企業によるサステナビリティ課題への取り組みの重要性が一層高まっています。当社グループは、国際社会・地域社会の一員として社会的責任を果たすべく、地球環境や豊かな社会への貢献を目指し、さまざまなサステナビリティ課題に対する活動を推進しています。

当社グループは、ものづくりを行う企業の責務として、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、グループの基本理念であるSHINKO Wayに基づく推進体系のもと、気候変動や資源循環、自然共生の各分野において環境保全活動に取り組んでいます。なかでも、喫緊の課題である気候変動への対応については、パリ協定等の国際的な枠組みもふまえ、脱炭素社会の実現に貢献するため、カーボンニュートラル達成に向けた中長期目標を昨年設定しました。今年4月には気候変動対策を推進する専門部署を新たに設置し、中長期目標の早期達成に向け、活動の強化をはかっています。

今後も、環境負荷を低減した製造プロセスの実現や省エネルギーに寄与する製品を市場に供給することなどを通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社グループにおけるサステナビリティ課題への具体的な取り組みについては、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.shinko.co.jp/sustainability/>



【環境活動推進体系】



【地域における環境保全・社会貢献活動】

長野県「森林（もり）の里親促進事業」に参画し、苗木の植樹、下草刈り、遊歩道整備などの森林整備を行っています。

会社の概要

Corporate Data

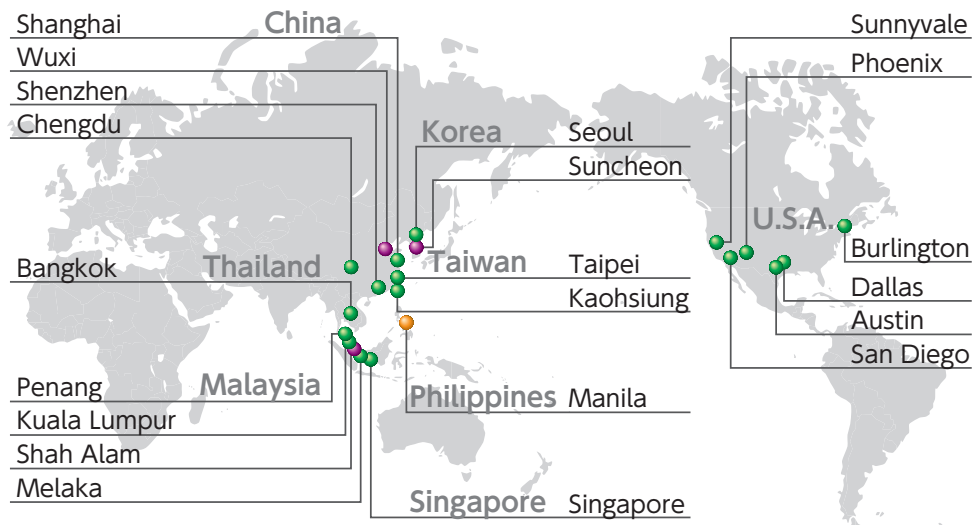
(2022年3月31日現在)

取締役

(2022年6月28日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 1946年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地
電話 (026) 283-1000〔代表〕
- 主な事業内容 プラスチック・ラミネート・パッケージ、
リードフレーム、ガラス端子、ヒートスプレッダー、
セラミック静電チャックなどの製造・販売、
ICアSEMBリ
- 従業員数 4,608名 (連結5,352名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、名古屋、福岡、マニラ
- グローバルネットワーク

代表取締役会長	藤田正美
代表取締役社長	倉嶋進
代表取締役専務執行役員	牧野恭久
取締役常務執行役員	小澤隆史
社外取締役	新美潤
取締役常勤監査等委員	伊藤明彦
社外取締役監査等委員	荒木泉水
社外取締役監査等委員	小林邦一



●営業拠点 ●駐在員事務所 ●生産拠点

株式の状況

Shareholders' Data

(2022年3月31日現在)

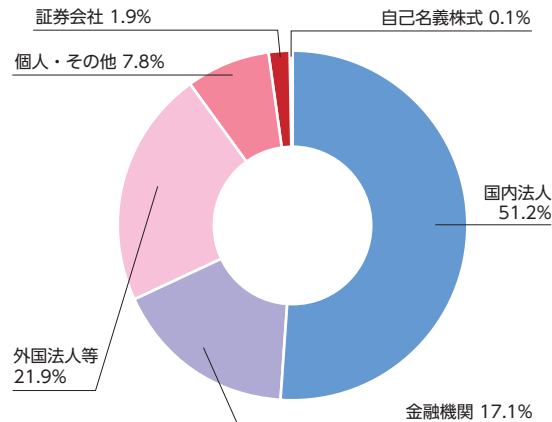
■発行可能株式総数	540,000,000株	■資本金	24,223,020,480円
■発行済株式の総数	135,171,942株	■株主数	21,646名
■大株主			

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,913	8.08
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	6,258	4.63
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,804	1.34
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,674	1.24
VICTORY TRIVALENT INTERNATIONAL SMALL-CAP FUND	1,086	0.80
RE FUND 116-CLIENT AC	1,033	0.76
新光電気工業株式会社従業員持株会	997	0.74
朝日生命保険相互会社	991	0.73

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2022年3月31日現在)



株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、株主優待制度を導入しております。



株主優待制度の概要

対象となる株主様 (※)		優待内容
保有株式数	保有期間	
300株以上1,000株未満	継続 1年以上	3,000円相当のオリジナルカタログギフト
1,000株以上		6,000円相当のオリジナルカタログギフト

※当社株式の保有期間が「継続 1年以上」であるとともに、毎年3月31日を基準日として上記株式数を保有する株主の皆様が対象となります。また、「継続 1年以上」とは、3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて3回以上連続して記載されていることをいいます。

「オリジナルカタログギフト」について

・当社工場が所在する長野県・新潟県の特産品または社会貢献活動への寄付を、当社オリジナルカタログギフトにしてご提供いたします。その中から好きなものをお選びいただけます。

▶ 2022年3月期の株主優待につきましては、2022年6月上旬にご案内書類をお送りしております。



※写真は全てイメージです。

株主優待制度の詳細は、
当社ウェブサイトをご覧ください。



CLICK!

新光電気工業 株主優待

検索

株式事務のご案内

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連 絡 先) 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町 1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵 送 先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部

■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■基準日

定時株主総会関係
配当金受領株主確定日 3月31日
3月31日および中間配当金の支払いを行う
ときは9月30日

■公告方法

電子公告
当社は、公告を下記ウェブサイトに掲載して
おります。

<https://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種
お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券
会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、
三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連
絡先にお問い合わせください。三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店におい
てもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金（除斥期間が経過したものを除く。）につきましては、
三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地
電話(026)283-1000〔代表〕FAX(026)284-8861
<https://www.shinko.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した植物油
インキを使用しています。